

福岡県立水産高等学校のグランドデザイン

スクールポリシー

- グラデュエーション・ポリシー**: 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - ・日本の水産業を支える人材となりうる心豊かで、力強い生き方、未来を見据える力
 - ・確かな学力、高度な専門分野の知識・技術
 - ・自尊感情、向上心、旺盛なチャレンジ精神
 - ・職業人に求められる倫理観
 - ・水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度
 - ・海洋環境の特徴や環境保全の必要性の理解
- カリキュラム・ポリシー**: 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - ・時代の流れに即した職業人の育成
 - ・地域と連携した専門的な授業
 - ・水産・海洋関連産業のスペシャリストになるために必要な専門知識の修得や実務体験ができる教育活動を展開し、新たな価値を生み出す柔軟な発想力をもった人材の育成
 - ・福津市と連携したSDGsへの取り組みを推進する教育内容
- アドミッション・ポリシー**: 入学生の受け入れに関する方針
 - ・水産・海洋の専門的分野に興味関心が高い人
 - ・専門知識や技術を習得したいと考え、その進路を目指す人
 - ・より多くの資格取得に興味がある人

校訓
「自律」「敬愛」「創造」

スクールミッション
水産業や海洋関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する学校
職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。

スローガン
「海にまなび 食にまなぶ 水高」
「海を拓き 世界を興せ」

生徒活動発表・各種催し等

- ・日本の水産業を支える人材としての誇りと意識の高揚を図る
- ・水産高校の専門性を生かした地域連携行事への参加や協力

[育成を目指す資質・能力]

基礎・基本的な知識や技術の確実な習得と主体的、対話的で深い学びを実現し、水産教育を通して、水産や海洋産業、地域社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。

社会性、倫理観、コミュニケーション能力、他者との関わりの中で生きていることの自覚等を育成する。

基礎体力や物事をやり抜く忍耐力や責任感を育成す

水産業を魅力とやりがいのある産業として認識させ、高度な技術の学びの場や国際交流等を通してキャリア教育を推進する。

- PTA**
- 同窓会**
- 津屋崎中学校
- 津屋崎小学校
- 福津市まちづくり

地域連携

- アメリカ国ハワイ州
ジェームスキャンベル高校

国際交流

産学官連

- 漁業協同組合
- 福岡県農林水産部
水産局
- 水産海洋技術センター
- JF 全漁連
- 大日本水産会
- 水産関連企業
- 各種関連大学
- 宗像市役所
- 福津市役所

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践

[令和5年度の教育重点目標]

- 1 本校で「何をしたいのか」、「何をすべきなのか」、「何をを目指すべきなのか」を問いかけ、生徒との信頼関係のもと、毎時間の授業を充実させた教科指導とともに、より良い人間関係づくりにつながる生徒指導を展開し、『日本一の水産高校』を目指す。
- 2 日々15分の「朝学習」をもとに、予習・復習、家庭学習の習慣化を図り、生徒の実態に即した授業展開、定期考査問題作成、放課後課外等を行い、学力向上を目指し確かな学力を育む。
- 3 資格課外の充実を図り、専門分野の知識・技術を生かした資格取得をめざすなど、生徒の希望進路実現・自己実現を支援する。
- 4 いじめ防止基本方針のもと、いじめの撲滅や差別を見逃さない組織づくり、校内並びに実習船「海友丸」の危機管理等、『生徒一人ひとりが「安心」「安全」で、「居場所」ある学校づくり』を推進する。
- 5 職員一人一人が教育公務員としてその使命と職責を十分に自覚し、本校の教育諸活動の魅力やキャリアパス等を提示・広報するとともに、生徒・保護者、漁協等地域社会の要望・願いを学校づくりに生かし、県唯一の水産高校として、地域に信頼され・期待される学校を目指す。
- 6 水産・海洋関係、地域連携の諸行事に多くの生徒を参加させ、わくわく生き生きするような活躍の場を与え、学校を牽引するリーダーを育成するとともに、その活動の様子や成果を本校ホームページ上に定期的に更新するなど、積極的に広報する。
- 7 新しい時代に求められる資質・能力を育むために「社会に関わられた教育課程」の実現を目指し、ICTを活用した教育をさらに推進し、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」について教職員が理解を深め、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善を行う。
- 8 本校の強みを生かし弱みを改善するために、各教科間の連携的な取組に加え、教員、生徒、保護者、地域などが、『チーム水高』として目的を強く共有し、常に目の前の生徒に寄りそった、スピード感ある教育活動により、ワンランク上の目標達成を目指す。
- 9 生徒がチャレンジする機会を多く設け、目標に向かって取り組んだ過程や結果を認める（ほめる）ことで真の達成感を味わわせ、さらなるチャレンジ意欲を向上させる「鍛ほめ福岡メソッド」を実行する。
- 10 職員及び生徒が創立70周年記念関連行事の意義を十分に理解して取り組み、校訓の「自立 敬愛 創造」の精神を体感することで、誇りや帰属意識の向上につなげる。

